

第二号

川島町消防団だより

消防団長あいさつ



消防団長 宮前 守

平成24年4月1日に川島町消防団長を拝命いたしました宮前守です。消防団だより第二号の掲載にあたり、ごあいさつをさせていただきます。

現在、川島町消防団は、団員百七十七名（女性団員七名）で川島町民の皆様の生命、身体、財産を守るため、日々活動を行っています。

平成22年に採用した女性消防団員は、活動3年目を迎え、防火広報、防火訪問、救急講習など活躍の場を広げています。

また、私たち消防団は水防団としても活動しています。川島町は四方を河川に囲まれていますので、水防演習や堤防の点検などを毎年行っており、河川の増水時には堤防の警戒なども実施しています。

今後も、災害に強いまちづくりのため、地域防災のリーダーとして努力して参りますので、町民のみならずご支援、ご協力をお願いします。

消防ポンプ操法認定審査会

平成24年8月5日、川島町上猪地内の埼玉県中央防災基地で、第17回埼玉県消防協会川越支部消防ポンプ操法認定審査会が行われました。消防ポンプ操法とは、前方に置かれた標的を火点と想定し、ホースを延長して放水するものです。審査会では、標的を倒すまでの所要時間や技能の正確さなどの総合評価に応じて、「秀級」・「上級」・「中級」の認定を受けます。

川島町、川越市消防団の全分団から各1チーム、計18チームが参加し、訓練成果を發揮する本審査会への出場にあたり、川島町消防団では、5月から訓練を開始し、3ヶ月間の訓練を積んで当日に臨みました。

審査は大変厳しいものでしたが、日ごろの訓練の成果を發揮し、川島町第四分団が1位、同第五分団が2位、同第二分団が3位という成績を収めました。また、川島町消防団六個分団全での分団が「秀級」と認定されました。

今後もポンプ操法同様、地域防災に役立つ技術を磨いていきます。



火点へ向けて放水！



ポンプ操法の様子

女性消防団員の活動紹介

女性消防団員7名は、かわしま春まつりや防災訓練など川島町の各種行事に参加し、防火広報活動や、応急手当の普及啓発活動を行っています。



心肺蘇生法の指導

ママ消防団員、頑張ってまーす！！

子育て・仕事・消防団員にと頑張るママ消防団員を紹介します。子供達も消防団員として活動するママを応援してくれています。



関根団員 中嶋団員 荒井団員

ママ、カッコいい！
これからもがんばってね！！

川島町消防団 活動紹介

川島町消防団には、第一分団から第六分団までの六個分団があります。今号では、第一、第二、第三分団の活動をご紹介します。

第二分団【伊草地区】



今年度の水防演習は、第二分団の地元、伊草地区で開催されました。

ここ数年、全国各地では異常気象による豪雨が度々発生し、河川の氾濫により甚大な被害が報告されています。川島町は、四方を河川に囲まれており、ひとたび豪雨に見舞われれば、河川の氾濫や洪水の危機にさらされます。

水防演習を通じ、水害時に行う様々な工法を改めて学習することができました。第二分団では、今回の経験を活かし、今後もいざという時のために備えていきます。

川島町消防団は、ふるさとの安全と未来を守る消防団員を募集しています。

問い合わせ 川島消防署消防課
TEL 297-1891



川島町マスコットキャラクター
かわべえ

団員募集中!!

第一分団【中山地区】



第一分団では、毎月2回、火の用心を呼びかけながら受け持ち区域を巡回し、火災予防の啓発に努めています。また、災害の発生に備えた毎月の機械器具点検、ポンプ車操法訓練のほか、各種消防訓練や普通救命講習などにも積極的に参加し、知識・技術の習得とともに、災害に対応できる人材の育成に励んでいます。

現在、第一分団では、一緒に活動していただける団員を募集しております。ぜひ、私たちと一緒に地域住民の安心・安全を守っていきましょう。

第三分団【三保谷地区】



平成24年9月2日、三保谷小学校で第27回川島町防災訓練が実施されました。

今年の訓練は大震災を想定し、三保谷地区の区長さんを中心に住民の安否確認、避難誘導、救助訓練など実践的な訓練が行われました。

私たち第三分団も、地域住民の方々と一緒に訓練に参加し、『自分の地域は自分達で守る』ことの重要性を改めて感じました。

今後も、引き続き訓練に励み、受持区域の巡回などを実施して、安心して暮らせるまちづくりを目指していきたいと思います。